

平成二十二年十一月、正倉院展が終了した直後から、なら仏像館と新館の間を発掘調査いたしました。この場所は、保延六年(一一四〇)に鳥羽上皇の発願により建立された春日東塔とそれを取巻く回廊・築地塀(東塔院)の北東隅にあたります。調査は奈良文化財研究所と当館の共同事業として行い、地表下約一・四メートルの深さでようやく東塔院の区画施設を発見しました。瓦や礫が溜まった雨落溝がし字に曲がる様子が確認されたので、その内側には築地塀の曲り角が存在したと推測されます。堀そのものは後世に削り取られてしまったようですが、これで東塔院の北限と東限を確定することができました(調査は十二月末で終了)。

当館の敷地は春日社の参道に隣接しており、平安時代に春日社に寄進された春日西塔院(関白藤原忠実の発願)と東塔院の両方が、その周辺地も含めて埋蔵されています。博物館の敷地に本物の塔跡が二つもあるのは、全国広しといえども奈良国立博物館だけかと思えます。その実態解明や保存に向けて、今後の調査や検討が私たちの課題になっています。



調査区全景

● 公開講座 ●

特別陳列「お水取り」

2月12日(土) 「修二会——不退の行法」 筒井寛昭師
(東大寺上院院主／東大寺塔頭龍松院住職)

午後1時30分～3時(午後1時に開場)。
会場は当館講堂。定員196名(先着順。午後1時より、講堂入口で入場券を配布します)。
聴講無料
※入場の際には、展覧会の観覧券もしくはその半券をご提示ください

● サンデートーク ●

1月16日(日) 「阿育王塔の本生図」
稲本泰生(当館学芸部企画室長)

2月20日(日) 「蓬萊の玉の枝一作り物閑話」
清水 健(当館学芸部研究員)

3月20日(日) 「奈良の仏像」
鈴木喜博(当館学芸部上席研究員)

各回とも、午後2時～3時30分(午後1時30分に開場)。
会場は当館講堂。定員196名(先着順)。聴講無料

● イベント ●

1月2日(日) 入館者全員にオリジナルグッズプレゼント

1月10日(月・祝) 金春穂高 能を語る 一実演と解説
午後1時30分～3時(開場は午後1時)。会場は当館講堂。定員196名(全席自由)。
料金は前売2,000円、当日2,500円(前売券が完売の場合、当日券の販売はありません)。
※当日(1月10日)に限り、チケット半券で、開催中の展示をご覧いただけます

1月29日(土) 奈良国立博物館落語シリーズ
「まほろば寄席・第11回」
午後2時～4時(開場は午後1時30分)。会場は当館講堂。定員196名(全席自由)。
料金は前売2,000円、当日2,500円(前売券が完売の場合、当日券の販売はありません)

2月6日(日) お水取り「講話」と「粥」の会
午前11時より午後3時30分頃まで。定員40名。参加費6,000円。
(詳しくは当館ホームページをご覧ください、下記までお問い合わせください)

2月9日(水) 文化財保存修理所特別公開
午前10時～、午後1時～、午後3時～(各回とも同内容。約60分)
※往復はかきによる事前申し込み制。はかき1枚につき1名様。応募者多数の場合は抽選。
各回とも定員40名。参加費無料。
(詳しくは当館ホームページをご覧ください、下記までお問い合わせください)

※各イベントの詳細および申し込み方法につきましては、
総務課企画推進係までお問い合わせください。
TEL:0742-22-4450(月～金の9:00～17:00)

● 特集展示関連企画 ●

2月13日(日) 修復完成記念特別講演会
「ウクライナ クリミア半島出土漢代漆器の保存修復」

- ・「ウクライナのスキタイ墳墓について」
Dr.Valentina Mordvintseva(ウクライナ考古学研究所)
通訳：庄野真佐子氏(前ケルン東洋美術館学芸員)
- ・「ウクライナ出土漢代漆器の保存科学的処理について」
岡田 文男氏(京都造形芸術大学教授)
- ・「ウクライナ出土漢代漆器の伝統的漆工技術による修復について」
北村 昭斎氏(漆芸家、漆工修理技術者)

午後1時30分～4時(午後1時に開場)。会場は当館講堂。定員196名(先着順。午後1時より、講堂入口で入場券を配布します)。聴講無料
※入場の際には、展覧会の観覧券もしくはその半券をご提示ください。
※都合により演題が変わることがあります。

◆ 奈良国立博物館賛助会

平成22年12月20日現在、一般会員(個人)36名、一般会員(団体)18団体、特別会員2団体、特別支援会員5団体のご入会をいただいております。新しく加入された方をご紹介します。

- 【一般会員(個人)】手島千恵子 様(平成22年10月ご入会)
大坂 義治 様(平成22年11月ご入会)
西山 敏郎 様(平成22年12月ご入会)
- 【一般会員(団体)】医療法人社団成風会 様(平成22年10月ご入会)

◆ キャンパスメンバーズ

当館は、大学等と連携を図り、博物館が所蔵する文化財を核として文化や歴史を共に学ぶ場を提供する「キャンパスメンバーズ」の制度を設けております。

会員大学等の学生および引率教職員は名品展については無料、特別展については400円で観覧できます(共催展の場合は別途定めるものとします)。学生証(引率教職員は身分証明書)の提示をお願いいたします。

〈会員大学等〉
大阪成蹊大学芸術学部、大阪大学、大阪樟蔭女子大学・大阪樟蔭女子大学短期大学部・樟蔭高等学校・樟蔭中学校、京都外国語大学・京都外国語短期大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学、京都嵯峨芸術大学・京都嵯峨芸術大学短期大学部、京都精華大学、京都大学、京都橘大学、京都伝統工芸大学校、京都ノートルダム女子大学、京都文教大学・京都文教短期大学、近畿大学芸文学部、近畿大学大学院芸文学研究科、実践女子大学・実践女子短期大学、就実大学人文科学部、帝塚山大学・帝塚山高校、天理大学、同志社大学・同志社女子大学・同志社高等学校・同志社香里高等学校・同志社女子高等学校・同志社国際高等学校、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良佐保短期大学、奈良産業大学・奈良文化女子短期大学・奈良文化高等学校・奈良学園高等学校・奈良学園登美ヶ丘高等学校、奈良女子大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良大学、佛光大学、龍谷大学・龍谷大学短期大学部(五十音順)(2010年12月1日現在)